

於予之立の内場中心發達、却々不斯便、且其積極的好
意ヲ以テ遇シ、指之の共、後大砲兵工廠ノ労働會議ニ刺戟
セラレタリト幹部中ニ急進分子ガハリ、^(注)漸次、漸次、確
クニ階級行動思想ニ際シ、工廠側ニ對シ、反抗的態勢ヲ持シ
タリカ、却々工廠ニ於テモ從來、^(注)強硬の手段、
出スルニ至リ、^(注)幹部、誠首ヲ斬行スルニ至リ、且、爾來
工廠側ト組合側ト、關係ハ數分互目ノ形ニアリ、予何者從
前ノ如キ好態ヲ持シ、兵云々。

二) 官憲側ノ態度

本會ハ創立當時ハ極々温和ナル主張ヲ持シ、幹部、合部

カ思想の「最」右傾派、居シ、且、以テ官憲側、於予之共、
行動ニ對シ、予之常、諒解ヲ與ヘ、且、^(注)其工廠、勢限、際
反抗的態勢ニ出テ、且、古屋ニ於テハ、^(注)反抗的、労働會議、
際、於予、今、長、西、博、序、去、分、幹部、^(注)極力、^(注)進、
收、監、ヲ、見、ル、ニ、至、リ、且、^(注)爾來、^(注)官憲側、^(注)於予、^(注)相當、
意ヲ、持、ヒ、兵、云、々。

三) 主張

綱 領

一、我等ハ愛國ノ精神ニ基キ、理想的ヲ奮起、組合ヲ組織シ、労働
問題、根本的解決ヲ圖リ、併シテ自治的物神、用、祭、品、性、